



# 全日本社会貢献団体機構 平成27年度通常総会を開催

AJOSCCかわら版 Vol.30 (平成27年6月4日)

平成27年度の当機構通常総会は、5月22日13時より第一ホテル東京において、会長、理事長、名誉顧問、専務理事、筆頭理事、理事、監事、参与、常任幹事、賛助会員の約150名の参加のもと開催しました。

冒頭、堀田力会長から「東日本大震災の被災者への支援が高く評価され感謝されています。しかし、復興は遅々として進んでいません。そういう意味で平成27年度に引き続き被災者を元気づける助成事業を実施する意義は非常に大きいと思います。また、今年度から一般助成は「子どもの健やかな成長を願う事業」に特化しましたが、子ども間の格差が大きな問題になってきており、日本の将来を担う子ども達が健やかに育つていただくために取り組んでいる助成です。公的支援が厳しくなっている中で、社会貢献活動で支えなくてはならない現状です。これからもしっかり社会貢献活動を続けていく所存です。」と挨拶がありました。

総会では平成26年度事業活動報告および平成27年度の事業計画・予算の審議が行われ、賛成多数で承認されました。



堀田力会長



阿部恭久理事長

次に、社会貢献活動審査委員会委員長代行の脇田理事から「第10回社会貢献大賞」の審査結果について、大西筆頭理事から平成27年度助成事業の選考結果について報告がありました。

最後に、阿部理事長より、「本日決定した27年度の事業計画・予算に基づき、より充実した社会貢献活動を展開していく所存です。また、平成26年の社会貢献・社会還元活動は約16億1600万円であり過去10年間の平均値を上回る拠出額でした。全国の皆様の継続的な対応は弱者を救う重要な活動となっています。会員である都府県方面組合の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします」との挨拶があり、盛会のうちに閉会しました。

## 各地で助成団体の内定式を実施

全日本社会貢献団体機構が、パチンコ・パチスロホール組合の連合会組織である「全日遊連」を母体とする組織であることを、より明確に助成団体に理解していただくように、今年度から助成団体の所在地の都府県方面組合で内定式を実施していただいております。



助成事業内定式の写真展示